

西・中央アフリカにおける油ヤシ・プランテーション 産業拡大に対応するためのコミュニティ能力強化と 地域プラットフォームの形成

ひろげる助成

2年目

国際会議



油ヤシ・プランテーション被害の村を訪問

課題

西・中央アフリカにおける大規模油ヤシ・プランテーション産業拡大により現地の土地・森林・生物多様性・食料安全保障が脅かされていること。

目標

①参加者のコミュニティと土地・森を守る情報と知識の会得、②現地の人々主導の地域プラットフォームの設立、③情報/教育/訓練用教材のコミュニティの人々の利用

今後の
展望

二年目までの活動で地域プラットフォームの活動が活性化されたことを受け、最終年にはこれを継続、各自の経験を共有し、地域共通の戦略・活動を作ることを目指す。

活動内容と成果

海外企業による油ヤシプランテーションの拡大により自分たちの土地や利用する森林等を失っている/失いかけている中央・西アフリカ諸国のコミュニティのリーダーと人びと、それを支える地元・国際NGOのメンバーらが参加し、土地・森林・生物多様性・食料安全保障を守るために前年度に設立された”地域プラットフォーム”メンバーが中心となって、国・地域レベルでの会合や女性ワークショップを開催、全体で約150人が参加し、情報交換と共通の戦略づくりを行った。実際に土地を守る、取り戻すといった事例が現れ始めた。



コートジボワールに集まった女性たち

ワークショップ
参加者(全体) 150人

女性会合参加者 30人

今年度計画の達成度 90%

目標達成度 66%

苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

教材作成において多くの関係者に関わってもらったため調整に時間がかった。

■ 工夫した点

教材作成において多くの関係者の声を反映させ、実情に有効な内容なものを作成した。

| 活動地域 | 

シエラレオネ

<https://www.grain.org/>